

# 第3学年A組 社会科学習指導案

指導者 後藤 高仁

## 1 単元名 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済

### 2 単元の目標

- (1) 今日の経済活動に関する諸問題に着目し、よりよい社会の構築に向けて、その課題を意欲的に追究し、解決しようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 様々な財やサービスの購入・消費を通して豊かな生活を送ることについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 経済活動に関する諸問題を扱った資料や消費者保護に関する資料を適切に選択して活用することができる。 【資料活用の技能】
- (4) 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や消費者保護の意義について理解することができる。 【社会的事象についての知識・理解】

### 3 生徒と単元

#### (1) 生徒について (男子14名 女子16名 合計30名)

明るい雰囲気のある学級で、熱心に学習に取り組み、発表意欲も旺盛な生徒が多い。平成 29 年度全国学力・学習状況調査の「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対し、「はい、どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が 90 %強で、全国平均 (51.5 %)・県平均 (69.8 %) を大きく上回っている。また、「異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」という質問に対しては、全国平均 (40.5 %)・県平均 (63.3 %) を大きく上回る 86.2 %の生徒が肯定的な回答をしている。このことから主体的に学習に取り組んでいる学級集団であることがうかがえる。

本単元に関する事前調査を行ったところ、次のような結果となった。

Q「経済」からイメージすることは何ですか。(自由記述)
価格 生産 消費 商業 会社(株式会社) 銀行 景気 税金 地産地消 カードの使用が多くなっている 買う際には、自己の判断が大切 など
Q「経済」には関心がありますか。
ある(8名) ふつう(15名) ない(6名)

地理・歴史的分野に比べると、公民分野で取り扱う現代社会・政治・経済・国際社会などに関する生徒の関心や知識は不十分で、身の回りにある社会的事象を自らの生活に結び付けて考えるまでには至っていない。特に、経済に関する内容でこの傾向が強い。そこで、本単元では、身近な消費生活を中心に経済活動にかかわる諸問題を取り上げ、主権者としてよりよい社会を構築しようとする態度を育成したい。

#### (2) 単元について

本単元の内容は、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

(2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などにつ

いて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。

中学校学習指導要領公民的分野の大項目「(2)私たちの経済」における「ア 市場の働きと経済」の中項目の経済に関する学習の導入にあたる。消費生活を中心に経済活動の意義を考えさせるとともに、関連のある内容「イ 国民の生活と政府の役割」の消費者の保護も併わせて取り扱う。具体的には、次のことを取り上げる。

経済活動は個人や社会が必要とする財やサービスを生産し、これらを消費することで生活を成り立たせている人間の活動であり、その意義は、人間の生活の維持・向上にある。人間の商品の購入における欲求には限りはないが、限られた収入と時間の中で、本当に必要な商品を選択する必要がある。先々の収入についても見通しを立て、計画性をもったよりよい消費生活を営むことも大切である。このことを踏まえ、様々な財やサービスの購入・消費を通して豊かな生活を送るにはどうしたらよいかについて考察させることをねらいとしている。

消費者の保護については、その意義の理解を基に、国や地方公共団体が法律や仕組みを整備したり、情報開示を進めたりすることで消費者の権利を保障してきたことを具体的な事例を通して取り上げる。また、自らの利益の擁護や増進のために自立した消費者になることや消費生活の多様性を尊重しつつも、消費生活に関する行動には社会参加や資源管理の要素もあり、現在及び将来の世代にわたって社会情勢や地球環境に影響を及ぼすものであることにも触れる。

### (3) 指導について

経済活動の意義については、経済に関する内容についての生徒の関心や知識が十分でないことを踏まえ、身近な消費生活を中心にして経済活動を取り扱い、意義について理解させる。特に、生徒にとって最も身近な家計を通して、我々の生活と生産・流通・消費からなる経済活動の結び付きに興味・関心をもたせるとともに、そのことを糸口にして、様々な財やサービスの購入・消費を通して豊かな生活を送るためにはどうしたらよいかについて広い視野で考えさせたい。その際、「消費者問題」「流通における宅配業者の人手不足問題」「買い物弱者問題」など、今日の経済活動における諸問題を通して、多面的・多角的に考察させる。本校学区の角間川地域には古くからの商店街が形成されているが、消費者の目線で地域の商店街の在り方などについて調査活動も行わせたい。

「効率」と「公正」の見方や考え方に着目し、購入・消費する際にどのようなことに留意する必要があるのかについて根拠を基に考え、他と比較・検討することによって、消費者が権利とともに責任を負っていることをより深く捉えさせたい。そして、持続可能な社会の実現のため、何が必要であり、何をすべきかについて考えさせ、責任ある消費者としての姿勢や行動を身に付けさせたい。

今年度行ったE S Dで身に付けさせたい力・さらに伸ばしたい力に関するアンケートでは、批判的に考える力と多面的・総合的に考える力について「よくできる」と回答した生徒の割合が、次のような結果となった。

#### 【E S Dで身に付けさせたい力・さらに伸ばしたい力に関するアンケート】(7月実施)

批判的に考える力	質 問 項 目	割合
	生活や学習の場で「どうしてだろう。」「これでいいのか。」と疑問をもつ。	69 %
	他の人の意見を聞いたり、話し合い活動をしたりすることにより、自分と他者の考えの共通点や相違点が見える。	55 %
	自分の考えを吟味し再構築する。	45 %

多面的・総合的に考える力	質 問 項 目	割合
	課題（物事）をメリット・デメリットの両面から見る。	59 %
	課題（物事）に対して、他の人の意見を聞いたり、話し合い活動をしたりすることにより、最初よりよい考えを生み出す。	59 %
	課題（物事）に対して、さらによりよい方法はないか考え出す。	41 %

社会科の授業においても、自分と他者の考えを比較・検討し、再構築することや課題に対してさらによりよい方法を考えるところまで至らない生徒が見られる。そこで、本単元では、本校で目指している「E S Dで身につけさせたい力・さらに伸ばしたい力」のうち、「批判的に考える力」と「多面的・総合的に考える力」に重点をおいて指導する。

#### ①批判的に考える力

批判的に考える力とは、根拠を基に事象や意見を的確に分析して客観的に捉えたり、自分の思考を意識的に吟味したりする力であると考えられる。本単元では、責任のある消費者が消費行動において重要視する点を、「効率」と「公正」の見方や考え方と関連付けて考えたり、判断したりした結果を、根拠を明らかにして表現させる活動を重視したい。また、今日の経済活動における諸問題にも目を向ける学習を取り入れ、消費者としての自分の在り方に見直すべき点について考えさせたい。

#### ②多面的・総合的に考える力

社会的な事象は様々な側面をもっており、いろいろな条件や要因によって成り立っている。また、事象が相互に複雑に関連し合っている。学びを深めるためには新たに獲得した情報を精査したり既存の知識と結び付けたりするとともに、他の考えの共通点や相違点を明らかにして、比較・検討などを行ったりすることが重要である。このことを通して、社会的な事象に関する新たな考えを形成したり、さらなる課題を見つけて解決策を考えたりできるようにしたい。学習活動の中で、個でじっくりと思考する場面、さらにグループで考えを交流させる場面、そして全体で意見を練り合う場面を設定するなど、他者の意見を受け入れ、さらに思考する時間を十分に確保する。今日的な経済活動における諸問題に加え、地域の商店街にも目を向けさせ、消費者の役割と責任について実生活の中で適切に判断して行動することができるようにする。

4 単元の指導計画と評価の計画

節	項	時	ねらい	主な学習活動	評価の観点				評価規準
					関	思	技	知	
消	私たちの消費生活	1	家計を通して、生産・流通・消費からなる経済活動と私たちの生活との結び付きや影響に関心をもつ。	商品を購入する際に重視する点について考え、その理由についてグループや学級全体で意見交換をしながら単元を貫く学習課題を設定する。	○				商品を購入する際に重視する点について、他と意見交換しながら、責任のある消費者としての在り方について関心を高めている。
	単元を貫く学習課題 豊かな暮らしを送るためには、財やサービスの購入・消費の際に、どのようなことに留意して生活すればよいのだろうか。								
費	消費者の権利と保護	2	消費者問題について調べる活動を通して、消費者の権利や行政の保護について理解させるとともに、消費者の自立について考える。	消費者保護のための法律や仕組みがどのように整備されてきたのかを調べ、ノートにまとめ、「自立した消費者」とは、どのような消費者をいうのかを話し合う。			○		消費者の権利とその保護の取組について調べ、具体的な被害例や対応策をノートにまとめることができる。
	消費生活を支える流通	3	流通の仕組みや役割、流通の合理化について理解させるとともに、宅配業者の困窮の問題を通して、消費者の責任について理解している。	流通について理解し、「直接仕入れ」と「一括仕入れ」のどのような点が合理的なのか、グループで話し合う。				○	流通の仕組みや役割、流通の合理化の取組について調べ、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
と	消費者の願いと地域の商店街	4	「買い物弱者」の問題に着目させ、地域の高齢者の買い物についての願いを調べる計画を立てる。	高齢者への聞き取り調査の結果をもとに買い物をを行う際にどのような願いや考えをもっているのかを予想し、調査の計画について話し合う。		○			聞き取り調査の結果をもとにして、調査の計画や方法について、適切に考えている。
	経	消費者の意思決定	5	調査結果を基に、角間川商店街の今後の在り方や地産地消の推進について多面的に考察する。	角間川商店街の調査結果から、商店街の今後の在り方について話し合い、私たち消費者ができることを考える。		○		
6			7			財やサービスを購入する際の意志決定要因に関する話し合いを通して、消費者の責任について多面的に考察する。	本単元で学習したことをもとに、消費者にはどのような姿勢や行動が大切なのかを考え、グループで話し合う。		○
例) 豊かな暮らしを送るために、消費者はそのニーズに沿って財やサービスを購入・消費する。また、様々な権利が認められ、行政でも保護されている。しかし、消費行動には、社会参加や資源管理の要素もあり、可能な限り持続可能な社会を意識した経済へのかかわりをするのが、豊かな暮らしにつながる。									

5 本時の学習（7／7）

(1) ねらい

財やサービスの購入や消費の在り方について、既習事項や資料、他の生徒の意見を踏まえて多面的・多角的に考え、責任のある消費者になるための姿勢や行動について自分の考えをまとめる。

(2) ねらいを実現するための手立てについて

責任のある消費者のあり方について、根拠をもって考えることができるように、比較・検討する視点を示して話合わせる。

(3) 学習過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点 (◎つまずきに対する手立て)	評価
導入 5分	1 前時までの学習を振り返り、単元を貫く課題を確認する。	一斉	・既習事項をホワイトボードに貼っておく。	
	単元を貫く学習課題 豊かな暮らしを送るためには、財やサービスの購入・消費の際に、どのようなことに留意して生活すればよいのだろうか。			
展開 35分	2 商品を購入するとしたら、どのような点を重視するのかを発表する。	一斉	・様々な商品の例を出すことで、購入する際にどのような点を重視するのかを発表できるようにする。	
	3 いくつかの身近な消費行動を「効率」や「公正」の面から根拠をもち考え、自分にとっての可能な限りの消費行動についての意見をまとめる。	個	◎自分の意見がなかなかまとまらない場合は、一つの点に着目させ、考えられるようにする。 ・資料のポイントのなるところに着目させ、生徒が自分の言葉でまとめられるようにする。	
	4 グループごとに課題について意見交換をする。 【批判的に考える力】 比較・検討する観点 ①効果は期待できるか （効率） ②不公平はないか （公正）	グループ	・比較・検討する観点を定めて、どの考えがより「効率」や「公正」を高める意見なのかを考えるように助言する。 ・相手の考えに対して納得できた点とできない点を付箋に書く。 ◎話合いがうまくいかないグループがある場合は、いくつかのグループが検討した内容を発表することで、話合いが進められるようにする。	
	5 グループの考えを発表し、学級全体で練り合う。	一斉	・消費者としてどのような姿勢が大切なのかを考えるように助言する。	
終末 10分	6 本単元のまとめをする。 消費者の姿勢と行動について自分の考えをまとめる。 【多面的・総合的に考える力】 まとめ 例) 豊かな暮らしを送るために、消費者はそのニーズに沿って財やサービスを購入・消費する。また、様々な権利が認められ、行政でも保護されている。しかし、消費行動には、社会参加や資源管理の要素もあり、可能な限り持続可能な社会を意識した経済へのかかわりをするのが、豊かな暮らしにつながる。	個	・前回までの授業で学んだことも参考にさせる。 ・今後、買い物をするときに、意識したいことも考えながら、まとめさせる。	責任のある消費者の姿勢と行動について、多面的・多角的に考え、自分の考えをまとめることができる。 【社会的な思考・判断・表現】 (ノートの記述分析)